



1. Lopetz Canyon に現われた断層、左側が北で、約 65° の傾角で隆起し、その上西へ動いた

(撮影 柴田)

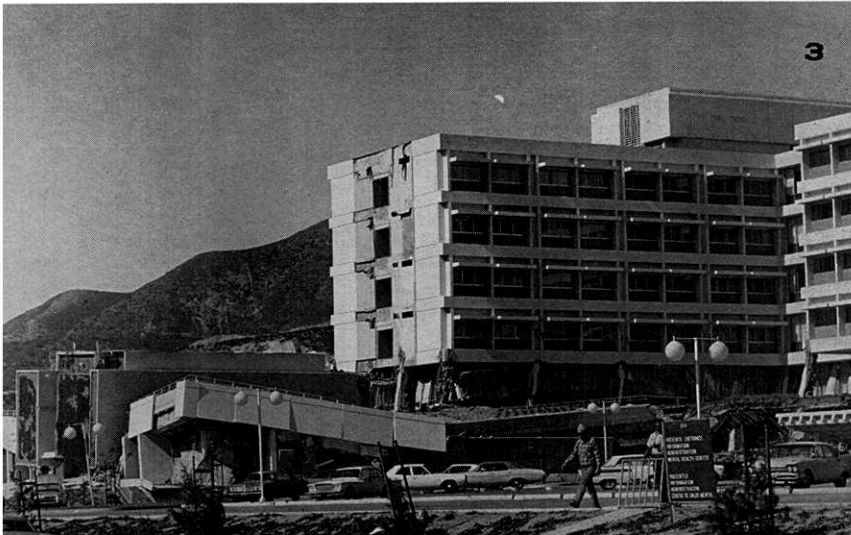
2. 同上断層面

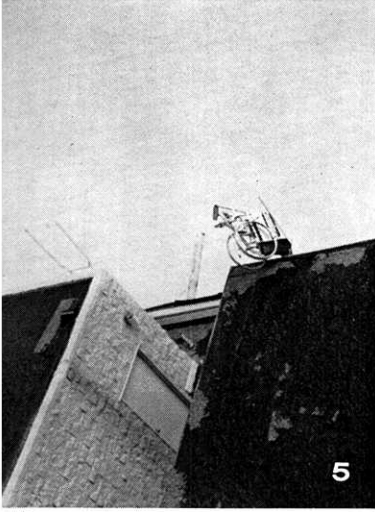
(撮影 柴田)

サンフェルナンド地震被害写真集

3. Olive View Hospital (Medical Center) は三方の階段室の倒潰、本館 1 階の破壊、Psychiatric Unit の 1 階部の崩壊など激甚な被害を受けた。しかし一見どこが壊れたかわからない感じであった。(L. A. 市 D. Wsp の好意による)

4. Olive View Hospital の転倒した 5 層の階段室の地階部。柱と鉄筋が破断している状態がよくわかる。(撮影 柴田)





5. Olive View Hospital の階段室屋上にひっかかっている車イス。
(撮影 柴田)



6. 5. の本館 1 階. 北側へ約 50 cm の永久変形を生じている. 鉄筋は 57 mmφ である。
(撮影 柴田)



7. 同上の Psychiatric Unit, 2 階建の第 1 層は完全に潰れている. 破壊したコンクリートの破片が飛散している。
(撮影 柴田)

8. Lower San Fernando ダムは水締工法によって建設されたもので、高さは約 40 m であって、湛水側に滑動崩落した。湛水位より数フィート上で滑ったため、越流崩壊をまぬかれた。
(撮影 田村)



9. Lower San Fernando ダムの右岸側より見た破壊状況で、堤体には堤軸直交方向にも多くの亀裂が見られる。上流法面保護のための厚さ約 20 cm の鉄筋コンクリート版は、鉄筋が切断して開口したり、あるいは挫屈のごとき破壊を示していた。
(撮影 田村)





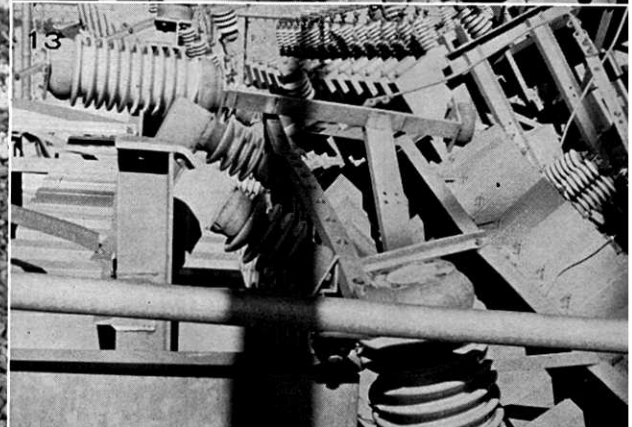
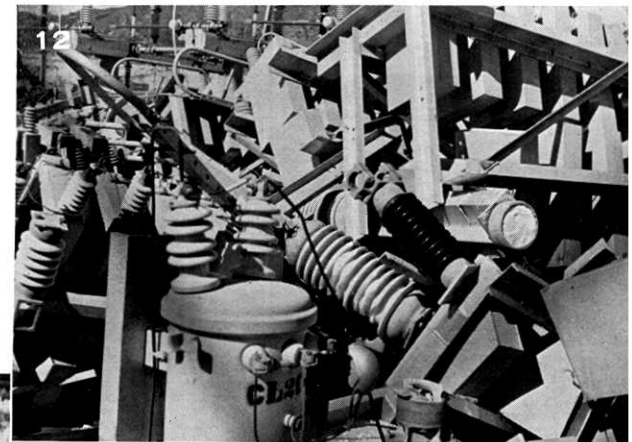
10. Juvenile Hall には多くの地割れがあって、その上の建築物や道路は著しい被害を受けた。(撮影 田村)



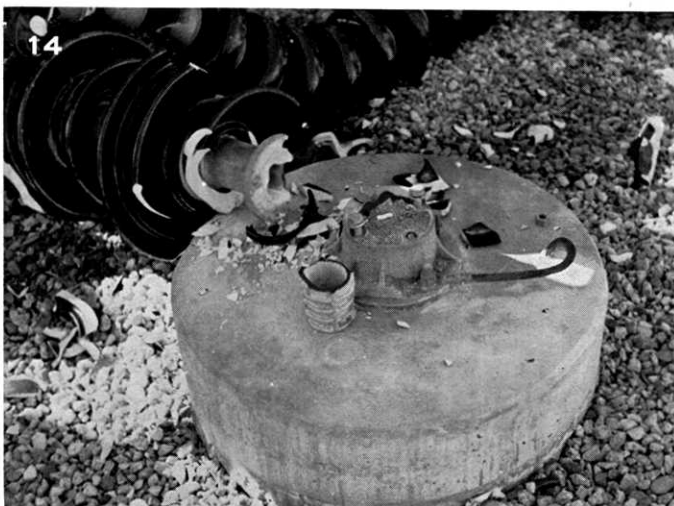
11. Sylmar 地区でみられた被害で、断層によるとされる地盤の永久変位のため、地変上の民家が被災した。(撮影 田村)

12. Sylmar 直交変換所におけるコンデンサーの被害で、写真中央下部には基礎上の取付金具の上でがいしが割れているのがみられる。(撮影 田村)

13. 上図と同様な被害で、1 段目と 2 段目の間のセメント接着部分がとれたため、架台が倒壊した例である。(撮影 田村)



14. 写真 12 と同じ地点で見られたがいしの破壊例で、ほぼこのような破壊を仮定して設計が行なわれている。(撮影 田村)

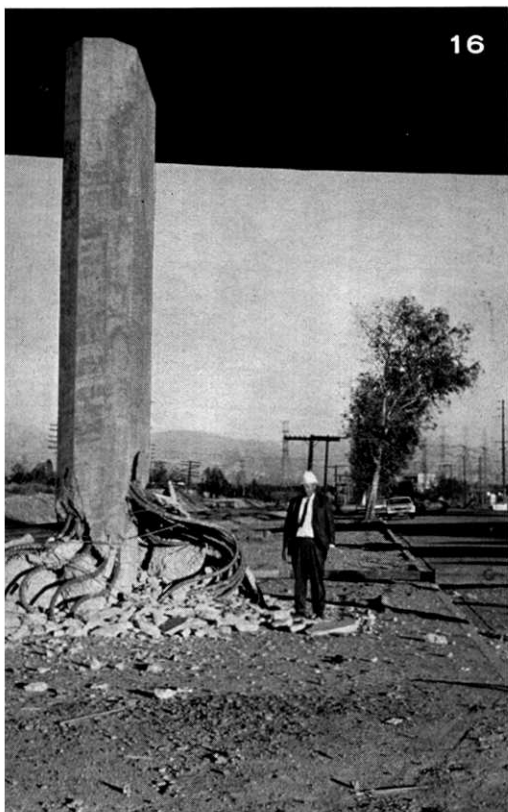




15. このような橋脚頭部の破壊例が多く見られる。主鉄筋にくらべて帯鉄筋が細く、橋脚自体も上部工の規模に照して細いように見られる。(State of California, Highway Transportation Agency, Div. of Highway 提供)

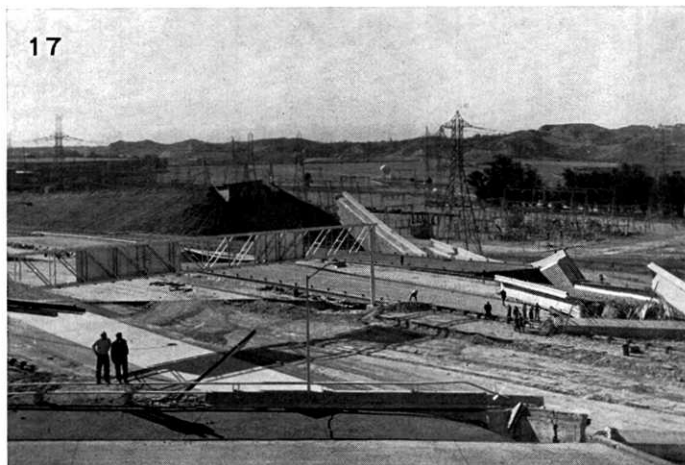
16. San Fernando Road および Southern Pacific Railroad に架る高架橋の被害で、橋脚根元が挫屈破壊（鉄筋径 57 mm）し、上部の PC 箱桁の下面に亀裂が発生した。

(Southern Pacific Railroad Co. 提供)



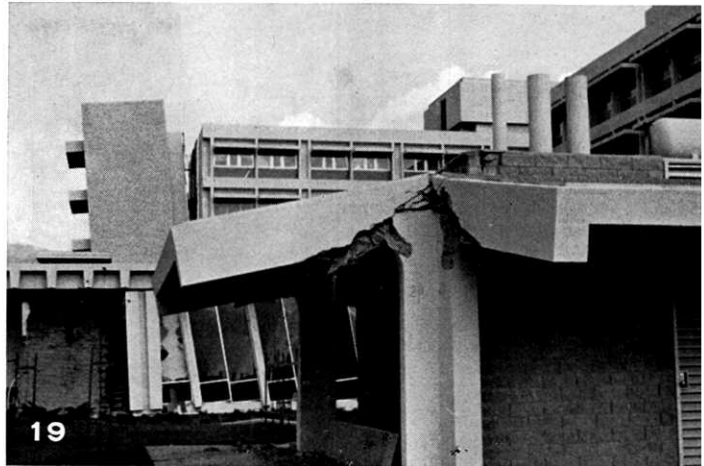
17. Interstate Highway 5号線と210号線とのインターチェンジでは、高さ約20mの橋脚の鉄筋コンクリート箱桁の曲線橋が、橋脚もろとも倒壊した。

18. 同上の被害を別の方向より眺めたもので、横倒しとなっている箱桁自体の被害は少なく、橋脚根元の鉄筋の引き抜けにより、ゆるやかに倒壊したものとみられる。(17, 18 とも State of California, Highway Transportation Agency, Div. of Highway 提供)



19. Olive View Hospital の排気室. のきが上下動によって折れている. 背後は本館, 北側への永久変形によって階段室も傾斜している.

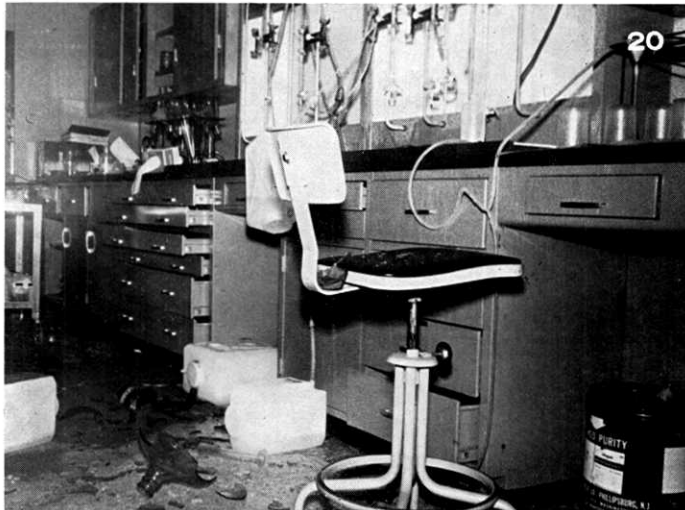
(撮影 柴田)



20. Burbank 地区の工場内実験室の状況(Lockheed Aircraft International の好意による).

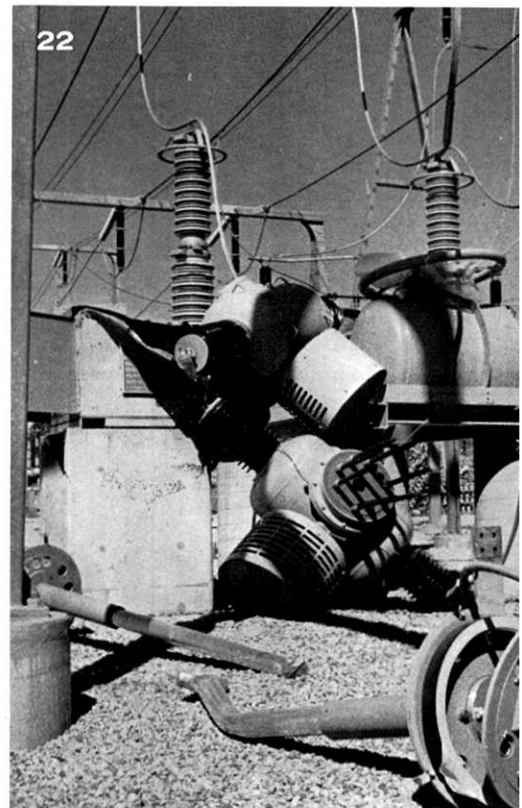
21. Pacific Intertie Converter Stn. で転倒したリアクタ. 右が NE 方向. アンカプレートが役をなしていない.

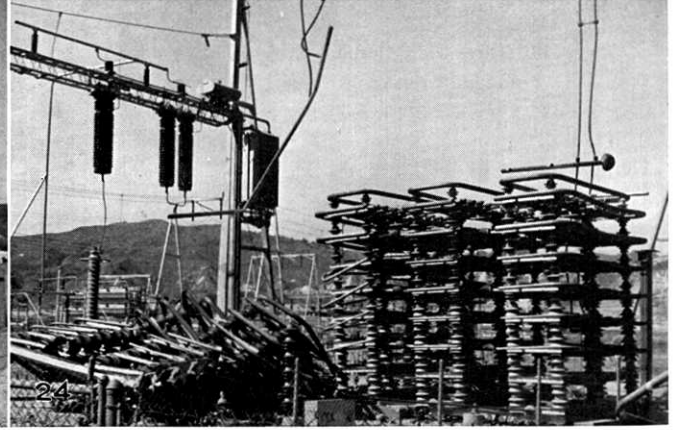
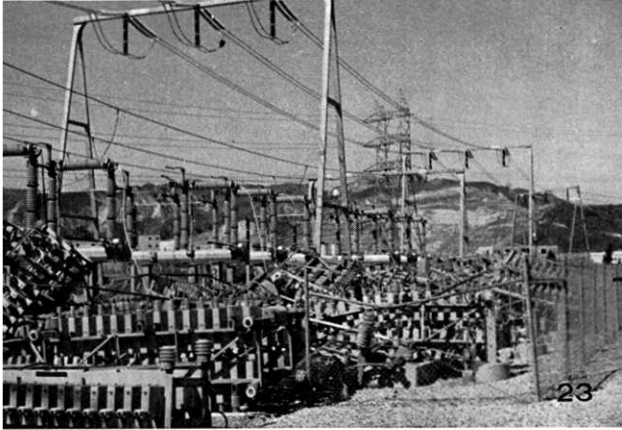
(撮影 柴田)



22. 写真21と同じ変換所の交流側気中遮断器の破損状況. 幹部の円筒がい子が破損飛散している.

(撮影 柴田)





23. 写真 21 と同じ変換所のフィルタ用キャパシタラックの破損状況。3 段になっているのが、それぞれの継目から折れ、最上段は上下逆になっている。(撮影 柴田)

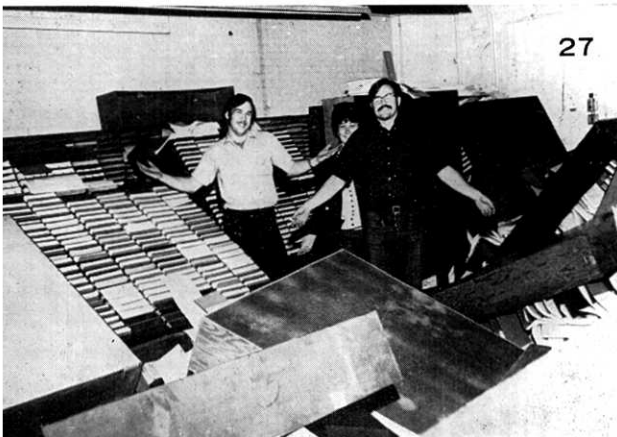
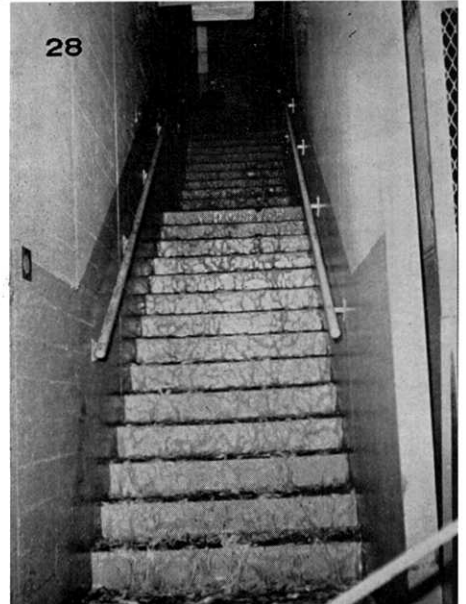
24. 写真 21 と同じ変換所のフィルタの破損状況。(撮影 柴田)

25. 写真 21 と同じ系列のリアクタ。アンカの方式が異なっている。ボルトが抜けている。(撮影 柴田)

26. 写真 21 と同じ変換所の補助トランスの横ずれ。(撮影 柴田)



27. 写真 20 と同じ工場内。書類戸棚の転倒 (Lockheed Aircraft International の好意による)。



28. 写真 27 と同じ工場内。スプリンクラの破損による水が階段を流下している (Lockheed Aircraft International の好意による)